データリンケージの経緯と課題

議論の経緯とこれまでの対応

- ・「2000年世界農林業センサスの計画について(統審議第7号 平成11年3月19日 答申)」において「本調査の結果と国勢調査等の結果とをリンケージし、農村の混住化の実態や地域属性等を多角的に分析した資料を提供できるようにすること。」とされた。
- ・それ以降、以下の手段等を講じてきた。
- ①農業集落と国勢調査基本単位区の地域範囲による照合
- ②農業集落の地域範囲の見直し検討
- ③旧市区町村と国勢調査基本単位区の地域範囲による照 合
- → いずれの作業においても、データリンケージをして公 表する状況までに至らず。
- ・「2010年世界農林業センサスの計画について(府統委第6号 平成21年1月19日 答申)」において、「2010年農林業センサスでは、農林業の活動や地域コミュニティ活動などの集落機能を把握することとしているが、今後、社会的なインフラなど、農業集落としての機能を維持する上で有用な情報を利用するため、国勢調査の調査区情報などを活用できるよう、検討する必要がある。」とされた。

現状と課題(メッシュデータ化の検討)

- ・地域メッシュ統計が作成されている国勢調査等他統計 とのデータリンケージを図るため、農林業経営体調査結 果のメッシュデータ化を検討。
- → 「地域活性化のための農業集落データ分析委託事業 (平成20,21年度)」の報告書を受け、2010年世界農林 業センサス農林業経営体調査の客体の住所情報に基づ きポイントデータを作成(ジオコーディング化)。
- ・結果を検証したところ、<u>最低限の補正を要する客体が</u>1割程度存在したため、今後、<u>メッシュデータを作成するためには、客体ポイントデータの精度を向上させる必要</u>がある。



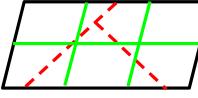
農林業センサスジオコーディングの概要

ジオコーディングにより、国勢調査等の結果を活用した小地域分析データを提供

現行

	農林業センサスデータ	国勢調査
小地域集計単位	辰未未冷	・国勢調査基本単位区・地域メッシュ

農林業センサスの農業集落の範囲と国勢調査結果等で用いている国勢調査基本単位区や地域メッシュとの範囲が一致していないため、双方の集計結果を複合的に用いることができない



点線:農業集落のエリア

実線:地域メッシュ

国勢調査の総世帯数等の データを活用して小地域の 分析をしたいが、データ リンケージが困難!

緯度経度座標の付与

農林業センサス調査対象候補(約440万)データ

集落名 客体番号 住所

A農業集落 客体1 ○○市△△1-1 客体2 ○○市△△1-3

客体3 ○○市△△2-3

B農業集落 客体4 ○○市△△4-5

客体5 ○○市□□1-6

客体6 ○○市□□1-2

C農業集落 客体7 ○○市□□8-2

客体8 〇〇市〇〇2-4

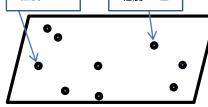
客体9 〇〇市〇〇2-8

地図上に客体を表示

 客体1
 客体9

 緯度:○○
 緯度:○△

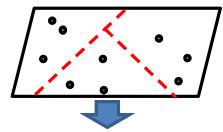
 経度:△□
 経度:△□



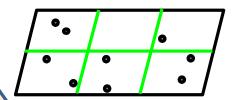
地図

国勢調査等様々な調査とのデータリンケージが可能となれば、 農業集落の機能を維持する上で 有用な情報の取得が可能

GISソフトによる分析・集計



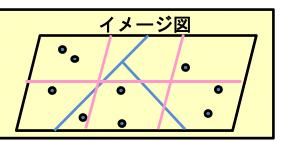
国勢調査結果等で用いている地域メッシュによる簡易集計が可能となる。



農林業センサス ジオコーディングの活用事例

2010年世界農林業センサスにおける約440万の調査対象候補の位置情報を電子地図上に表示する「ジオコーディング」を実施。

これを基にした国勢調査結果とのデータリンケージや他のGIS情報との重ね合わせにより、有用な地域的分析が可能となる。



例①

例2

例③

①地域メッシュ別集計



②国勢調査等、他統計調査の地域メッシュ集計結果取り込み



農村の混住化の実態、他の産業と合わせた総合的な分析

①各種行政等で用いられている 地図情報を取り込み



②当該地域範囲で集計



各種事業等の検証・評価

①空中写真・衛星画像の取り込み



②自然災害による被害情報等の 行政情報を取り込み



情報の関連性の視覚的な表示、 被害状況の分析・解析



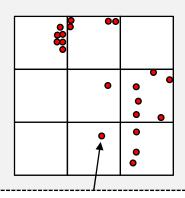




- ●情報を蓄積することにより、各種施策の検討・評価・構築に資する推計・分析が可能となる。
- ●更に、これらの情報をデータベース化することにより、<u>総合統計情報データベース(「食」</u>と「農」の総合統計情報データベース)化に繋がり、各種情報の適切な提供が可能となる。

農林業センサス ジオコーディングの活用イメージ

農林業センサスの 地域メッシュ作成

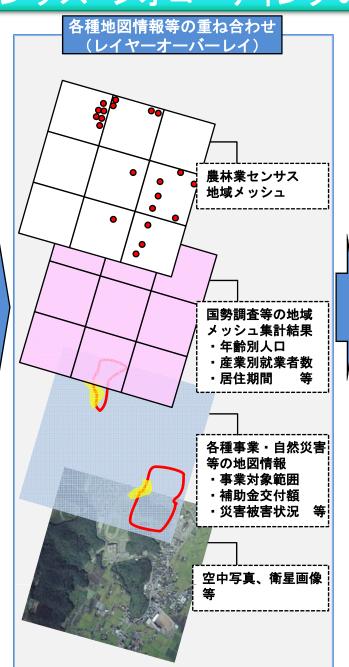


農林業センサス調査対象候補 「ジオコーディング」データ

【農林業センサス結果】

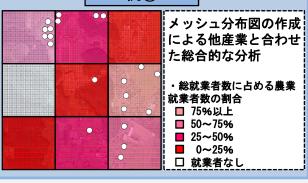
- 農林業経営体数
- 経営耕地面積
- ・農作物の作付面積
- 家畜の飼養頭羽数
- ・農業生産関連事業への取組
- ・農業労働力
- 林業労働力

等のデータを地域メッシュ別 に集計



多様な分析・評価・検証

例(1)



例2



事業対象範囲の集計による事業の検証・評価

·a地区

農業経営体数:8経営体 農業経営体数:8経営体 農業就業者数:20人 経営耕地面積:5.4ha 耕作放棄地面積:1.0ha 交付額:500万円 農地集積目標:Oha

例(3)



自然災害の視覚的表示 や被害状況の分析・解 析

___ 土砂災害対象範囲

- ·被害対象地域 a地区、b地区
- ・被害のあった経営体数 3経営体

S